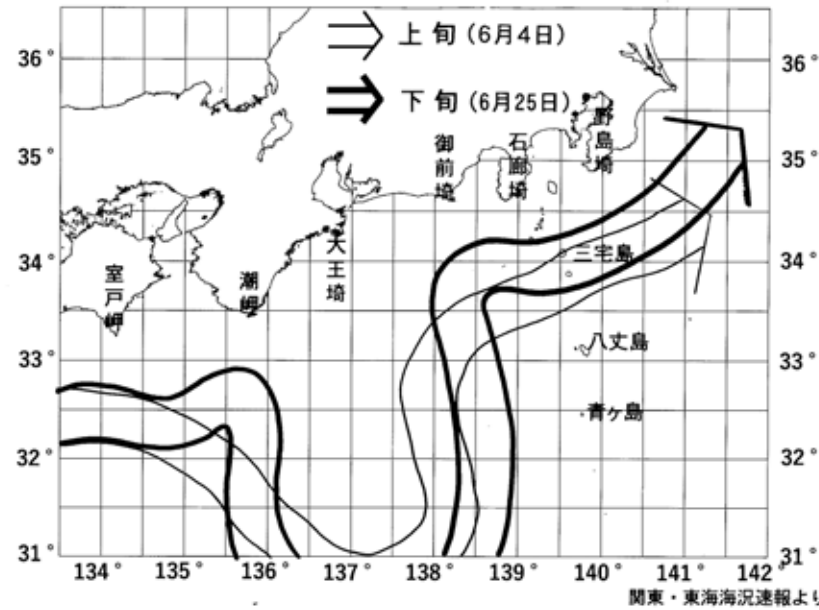


漁海況月報

令和3年6月1日

No.6 ~6月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



6月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.3	20.0	19.6	20.5	21.1	21.1
	0.5	0.9	0.2	0.0	0.5	0.6
中旬	21.5	21.5	21.5	22.7	22.5	22.5
	1.0	1.9	1.7	1.5	1.1	1.4
下旬	22.4	23.0	22.7	24.0	23.3	23.6
	1.1	2.4	2.0	1.8	1.2	1.8
月	21.4	21.5	21.2	22.4	22.3	22.3
	0.9	1.7	1.3	1.1	0.9	1.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

潮岬を大きく離岸した後に遠州灘沖付近から上旬はS字状に、中下旬は直線上に北上する流路となった。

上旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、遠州灘沖31°N付近から三宅島をS字状に北上する流路となった。

中、下旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から駿河湾沖付近を直線上に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は下田、雲見で「平年並」、伊東、稲取、沼津、焼津で「やや高め」であった。中旬は伊東、沼津、焼津で「やや高め」、稲取、下田、雲見で「高め」であった。下旬は伊東、沼津で「やや高め」、稲取、下田、雲見、焼津で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは247.6トンで前年同月(114.9トン)の2.2倍であった。魚価は169円/kgで前年同月(444円/kg)を下回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、小(尾叉長48cm)を主体に、中(尾叉長50cm)、大(尾叉長58cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R3年6月上旬	65.8	23	2.9	208
中旬	102.2	22	4.6	158
下旬	79.6	16	5.0	152
R3年6月計	247.6	61	4.1	169
R2年6月計	114.9	48	2.4	444
R1年6月計	241.9	62	3.9	301

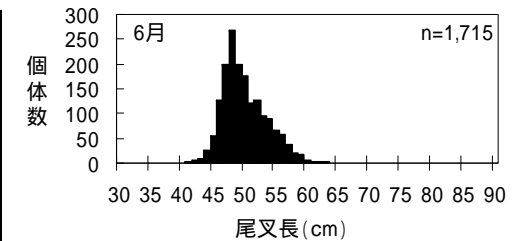


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は158.1トンで前年の同漁場の水揚げ量(126.4トン)の1.3倍であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、22.6トンで前年(18.1トン)の1.3倍、平年(57.3トン)の39%であった。水揚げ量の多い漁場は、伊豆山漁場(38.5トン、さば類、カタクチイワシ、マアジ)、次いで古網漁場(37.0トン、さば類、カタクチイワシ、マルアジ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は81.2トンで、前年比1.7倍、平年比81%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは10.6トンで、前年比2.0倍、平年比62%、ゴマサバは70.6トンで、前年比1.7倍、平年比78%であった。カタクチイワシは14.3トン、前年比1.3倍、平年比30%であった。ブリは12.3トン、前年比61%、平年比66%で、銘柄わらさ主体であった。マアジは11.9トンで、前年比2.1倍、平年比18%であった。シイラは10.6トンで、前年比2.9倍、平年比54%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では古網漁場が22%(17.7トン)、伊豆山漁場が20%(15.9トン)、赤沢漁場が19%(15.6トン)、カタクチイワシでは伊豆山漁場が66%(9.4トン)、古網漁場が34%(4.9トン)、ブリでは赤沢漁場が60%(7.4トン)、谷津漁場が22%(2.7トン)、マアジでは伊豆山漁場が51%(6.0トン)、古網漁場が30%(3.6トン)、シイラでは川奈漁場が24%(2.5トン)、古網漁場が22%(2.3トン)、赤沢漁場が18%(1.9トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和2年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	81.2	1.72	0.81	古網、伊豆山、赤沢
カタクチイワシ	14.3	1.29	0.30	伊豆山、古網
ブリ	12.3	0.61	0.66	赤沢、谷津
マアジ	11.9	2.13	0.18	伊豆山、古網
シイラ	10.6	2.92	0.54	川奈、古網、赤沢

[サバ棒受網・たもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は上旬及び中旬はたもすくい、下旬はたもすくい及び棒受網主体で操業した。漁場は上旬及び中旬は利島北部、下旬は利島北部及びひょうたん瀬に形成された。水揚量はマサバ235トン(前年同月比473.0倍)ゴマサバ100トン(前年同月比64.5%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ8.7トン(前年同月比310.3倍)ゴマサバ3.7トン(前年同月比43.0%)であった。

1kgあたり平均単価はマサバは124円で前月(107円)を上回り、前年同月(271円)を下回った。ゴマサバは115円で前月(107円)を上回り、前年同月(138円)を下回った。

水揚げされたマサバの体長組成は38cmにモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長は30cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R3年6月上旬	234	51	6	18	13.0	2.8	123	115	利島北部
中旬	0	36	3	4	0	9.1	402	113	利島北部
下旬	-	13	2	5	-	2.7	-	124	利島北部 ひょうたん瀬
R3年6月計	235	100	11	27	8.7	3.7	124	115	利島北部 ひょうたん瀬
R2年6月計	0	155	7	18	0	8.6	271	138	大室出し、ひょうたん瀬、利島北部
R1年6月計	19	402	7	29	1.2	13.9	177	84	ひょうたん瀬など

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

6月の出漁日数は1日、水揚量は10.2トンであった(前年同月の出漁日数は1日、水揚量は0.9トン)。主漁場は由比沖～興津沖、及び同海域沖合であった。水揚げされたサクラエビの体長組成は35～36mm付近にモードがあった。

なお、今春漁は6月1日夜の操業で終漁し、総水揚量は140.4トン、出漁日数は19日であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R3年6月計	10.2	1	由比沖～興津沖、及び同海域沖合
R2年6月計	0.9	1	相良沖
R1年6月計	-	-	出漁なし
H30年6月計	4.7	1	由比～興津沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が182kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が275kgであった。平均水揚量は240kgと前年同月(475kg)の50.5%、平年同月(過去5か年平均:308kg)の77.9%であった。また、総水揚量は486.1トンで前年同月(1,152.6トン)の42.2%、平年同月(511.6トン)の95.0%と、前年同月、平年同月をともに下回った。平均単価は797円/kgと、前年同月(870円/kg)の91.6%、平年同月(901円/kg)の88.4%と、前年同月、平年同月をともに下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	44.5	13	151	295	655
舞 阪	160.2	16	575	279	714
福 田	101.3	16	392	258	574
御前崎	41.8	14	146	286	830
吉 田	83.0	17	429	193	1,026
静 岡	55.3	19	332	166	1,194
R3年6月計	486.1	95	2,025	240	797
R2年6月計	1,152.6	101	2,425	475	870
R1年6月計	473.6	69	1,477	321	831

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成28～令和2年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では419.3トン(前年同月比4.8倍、平年同月比96.1%)小川港では101.4トン(前年同月比2.7倍、平年同月比1.5倍)伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では89.1トン(前年同月水揚げなし、平年同月比2.1倍)小川港では10.5トン(前年同月水揚げなし、平年同月比48.0%)伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.002トン、カタクチイワシは14.3トンであった。

*平年:過去5か年(平成28～令和2年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

6月 1日	～	6月 3日	地先定線観測調査	(3日間)
6月 7日	～	6月 8日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)
6月 9日	～	6月 10日	さば類標識放流調査(ひょうたん瀬)	(2日間)
6月 14日	～	6月 17日	カツオ標識放流調査(遠州灘・伊豆諸島)	(4日間)
6月 21日	～	6月 22日	キンメダイ食害調査(伊豆)	(2日間)
6月 23日	～	6月 24日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

